

今年度第2回の学校運営協議会を令和6年9月20日（金）に開催し、7名の委員の方々にご出席いただきました。

また、幸手市教育委員会学校教育課佐久間主幹兼指導主事にもご同席いただきました。

今回は、今年度1学期の取組及び今後の予定（開校20周年記念式典）について、予算の執行状況、埼玉県及び全国学力学習状況調査、学校評価（学校生活アンケート）についてご報告し、その後「学校行事、PTA行事、地域行事への参加・連携について」のテーマで熟議をいただきました。

以下、学校側からの報告の中での質疑応答や熟議で話し合われた内容についてお知らせします。

「埼玉県及び全国学力学習状況調査」報告の中から

（質問1）非認知能力とはなにか。

（回答1）国語や算数とは別に、勉強するにあたって、自己効力感や努力調整方略などテストでは測れない力である。学力との相関関係があるとされている。

（質問2）読書離れが言われているが、子供たちの読書はどうか。

（回答2）図書室を移設してから、図書室の利用が増えている。

6月や秋に「読書まつり」を行ったり、地域の方に読み聞かせボランティアをお願いしたりしている。



学校評価（学校生活アンケート）結果報告の中から

（意見）子供たちが自転車に乗る際、ヘルメットをかぶろうとしないので、学校でも指導してほしい。

（質問3）運動会は今後も半日開催なのか。半日開催は感染症や熱中症対策なのか。

（回答3）教育課程の関係で、練習時間が十分とれないことが理由。県下全体で半日開催が増えている。コロナ禍以前のやり方には戻らない傾向である。朝早くからの場所取りやお弁当作り等、保護者の負担軽減にもなっている。

（要望）児童の下校が予定より早まるのであれば見守りの方々へ連絡をほしい。下校がバラバラにならないようお願いしたい。



熟議「学校行事、PTA行事、地域行事への参加・連携について」
委員の皆様からいただいたご意見・ご提案

① 学校ができること

- ・ホームページやメールによる発信
- ・子供たちの町会での仕事ぶりを見る
- ・事業への参加（動員）を減らしていく
- ・参加意識の高い層への取組強化
- ・地域住民も参加できる機会をつくる（運動会玉入れ等）
- ・授業参観終了時に親子合同の避難訓練を行う
- ・教職員と保護者の交流機会の工夫
- ・防災連携
- ・声掛け・あいさつ
- ・地域人材との協力・連携

② 家庭・地域ができること

- ・校庭の草むしりの手伝い
- ・地域の行事に子供たちが参加できる体制づくり
- ・ソーラン踊りをオープニングセレモニーにて行う
- ・通学班内の情報交換を強化する
- ・お祭りの一連の仕事を経験させる
- ・あいさつや対話

